

東京女子体育大学と協力し「行動災害」防止の講習会を開催

～元五輪代表の秋山エリカ教授が指導する新体操部の学生が協力～



濱本さん・左近さんと毛利署長

平成26年2月27日、立川署は、「建設業着工時安全衛生管理講習会」及び「労働災害再発防止講習会」を開催しました。

全国的に「腰痛」・「転倒」・「転落」を中心とする労働者の行動に起因する災害(いわゆる「行動災害」)が増加する中、ラジオ体操を朝礼時に導入している建設業では、腰痛を始め「行動災害」の発生率が極めて低いことが知られています。立川署では、ラジオ体操を始めとする適切な体操の導入を企業に指導し、「行動災害」の減少に取り組んで来ました。

昨年9月、「平成25年度全国労働衛生

週間説明会」において、立川署管内の国立市にある東京女子体育大学の教授で、新体操競技の元オリンピック代表でもある秋山エリカ先生に、「正しいラジオ体操」と題して、特別講演を賜りました。今回は、秋山エリカ先生が指導する同大学・新体操競技部の学生2名(左近美沙

紀さん、濱本春菜さん)にボランティアで体操指導の講師をしていただきました。同大学では、地域交流活動の一環として、積極的にボランティア活動を行っているとのことでした。

佐近さんと濱本さんのお二人は、各々、国民体育大会や東日本学生新体操選手権大会で上位入賞の経歴を持つ、優秀なアスリートです。首や肩周りのストレッチで準備をしてから、ラジオ体操の動きを一つ一つ実演付きで解説していただきました。最後に、コーディネーショントレーニングのやり方も披露。お二人の爽やかな笑顔で、講習会を和やかな雰囲気で開催することが出来ました。



ラジオ体操は息が切れるほどでした

今後、立川署では、多方面の協力を仰ぎながら、適切な体操の導入による「行動災害」の減少に取り組みます。

今後、立川署では、多方面の協力を仰ぎながら、適切な体操の導入による「行動災害」の減少に取り組みます。



まずはストレッチで準備体操



最後にコーディネーショントレーニングも披露されました